



大切な人へ、そして大切な地球へ

たくさんの里親と地域と共に進める森づくり
PresentTree in くまもと山都

2023年度 第2回グッドプラクティス塾
水辺の保全・活用における連携の新たな形 ～ 水環境 × OECM ～

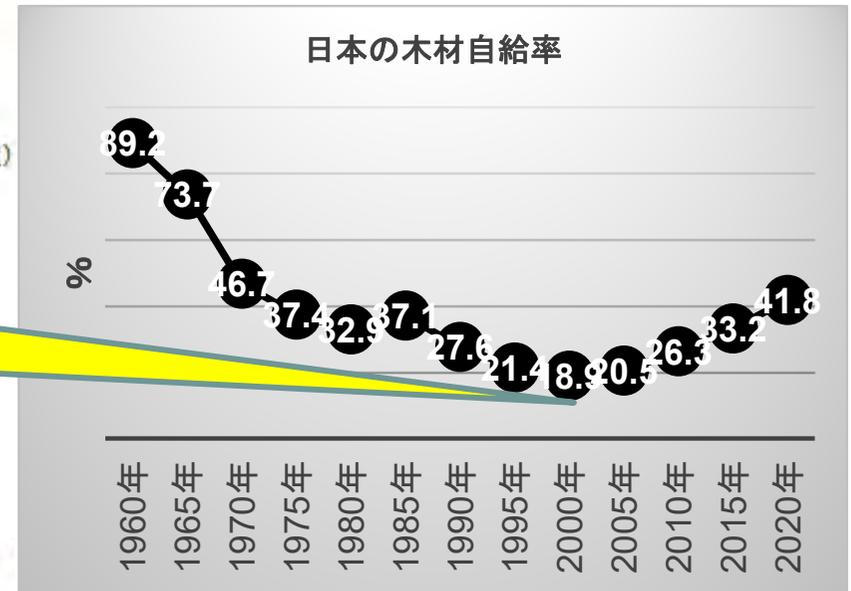
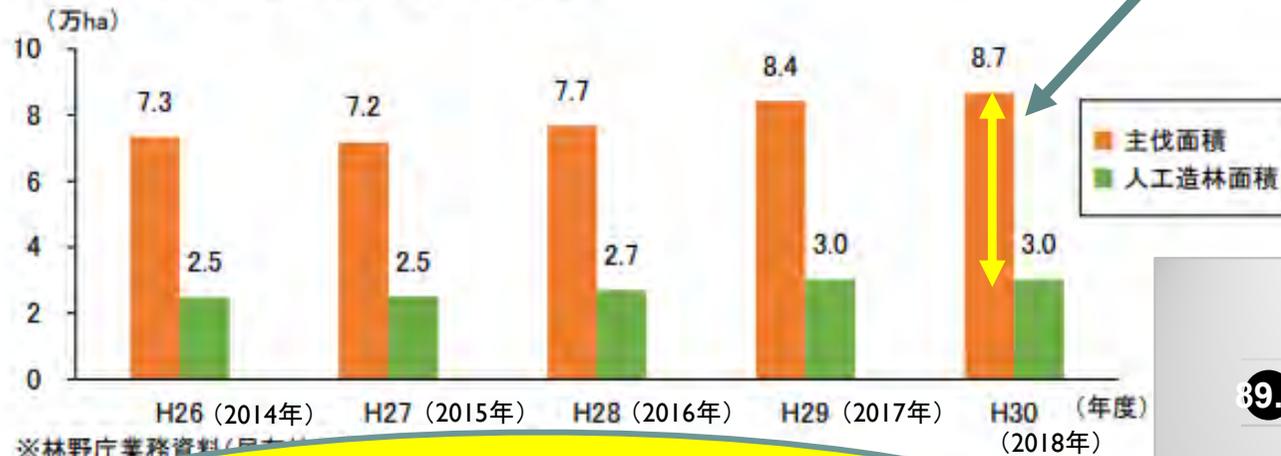
2024.2.28
認定NPO法人環境リレーションズ研究所
鈴木敦子

皆伐跡地が広がっている。
2021年2月撮影 熊本県山都町第2協定エリアからの景観



課題: 主伐面積に対して人工造林面積が3~4割程度で推移
 ⇒ それ以外の6~7割「造林未済地(皆伐放棄地)」を減らさなくてはならない

■ 主伐面積と人工造林面積の推移

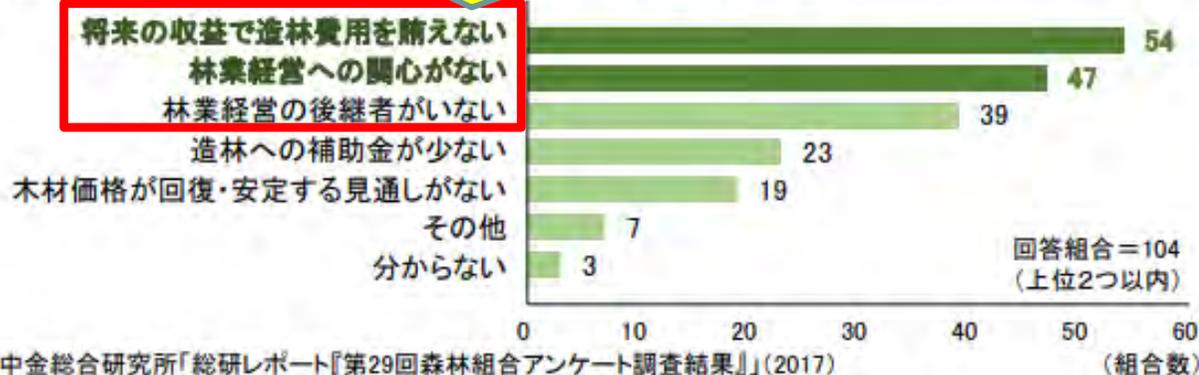


林野庁「木材需給表」より

なぜ再造林しないの？
 かつて、プレゼントツリー立ち上げ時期は
 「国産材が売れない」が主な要因。

なぜ再造林しないの？
 今は「高齢化による将来への不安」

再造林を実施しない理由(森林組合員・管内組合員の意向)



※農林中金総合研究所「総研レポート『第29回森林組合アンケート調査結果』」(2017)

森が無くなると????

森は命の源。

私たちが生きていくために必要なものは森が作ってくれています。森がなければ、私たちは生きていけません。

森が作ってくれる食べ物、空気(酸素)、水

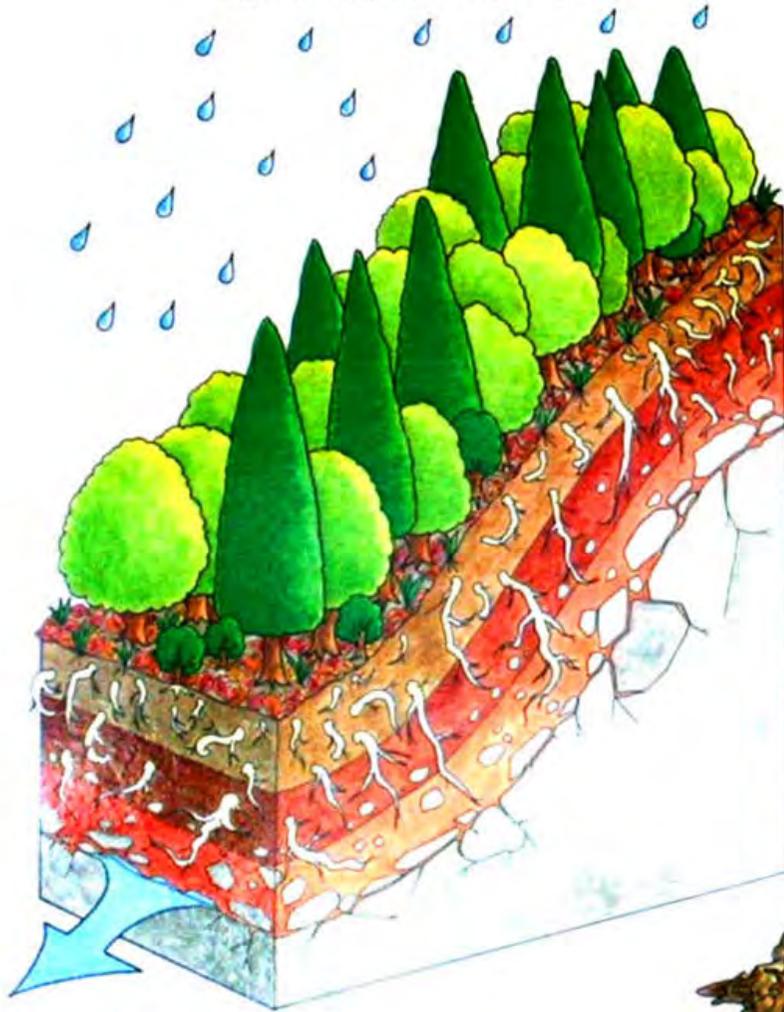


【参考資料】

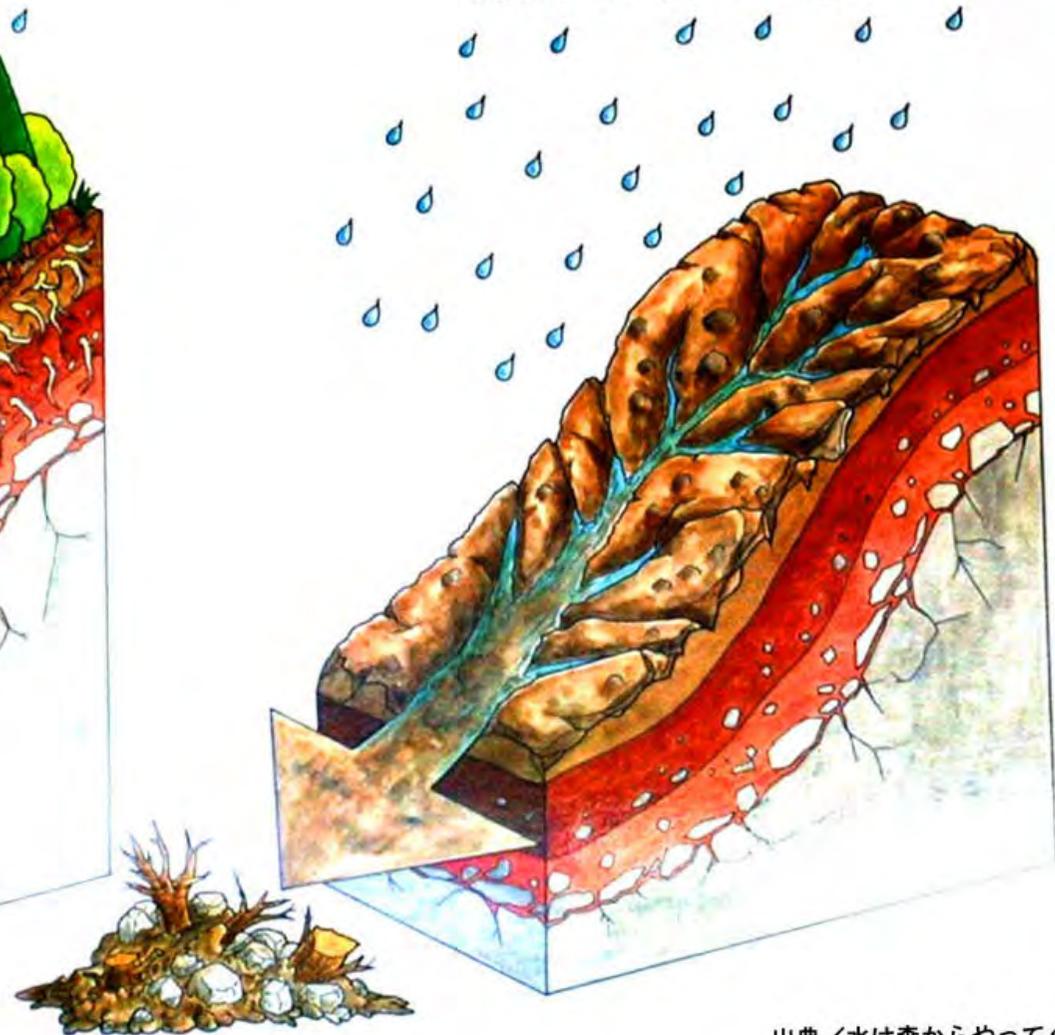
樹冠（葉が茂っている部分）によって雨を遮断し、激しい雨が一気に土壌に届く量を減らすことにより、土壌の流出を防止。
雨水がじわじわと土壌に浸透、地下水～川～海へと流れ出す

森林が、水を蓄え山を守る

健康な森林がある山



森林がなくなった山



出典／水は森からやってくる

【参考資料】水は地球を循環している！
森林土壌を浸透する過程で雨水が浄化され綺麗で美味しい水を作り、
この水は森～地下水～川～海～空を巡っている。



Present Treeとは

「人生の記念日に樹を植えよう！」



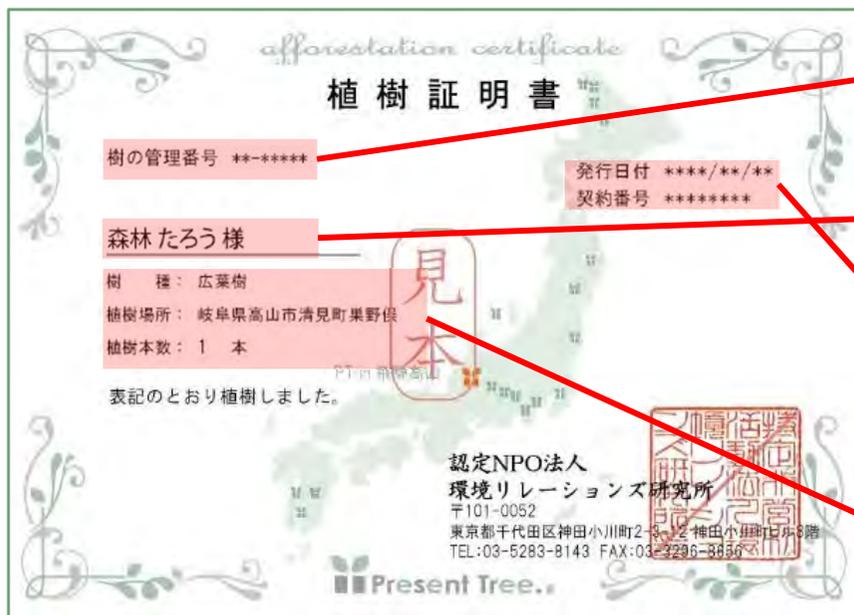
とよびかけ、造林未済地や災害跡地等のはげ地に樹を植え、都会の個人・法人がその樹の里親となり、大切な記念樹として以後10年間、地元と交流しながら共に育てていくことで、森林再生と地域振興に繋げていくプロジェクト。

プレゼント・ツリーの「プレゼント」には、大切な人へのプレゼント、という意味と、その地域の森へのプレゼント、延いては地球・未来へのプレゼント、という意味。



Present Tree の特徴 - 1 植樹証明書

1. 植樹証明書



植えられた区画がわかるよう
番号が記載されます

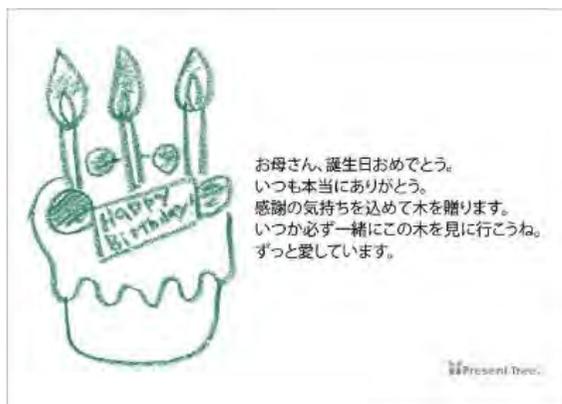
苗木の「里親」の名前が記載
されます

ご希望の日付(誕生日・記念
日など)を記載することも可
能です

場所や植樹本数などが記載さ
れます



2. メッセージカード(例)



3. 植樹地カード(例：PresentTree in くまもと山都)



4 者間協定を結ぶ

- ①森林所有者
- ②行政（市、町など）
- ③地元の森林管理施業者（森林組合等）
- ④環境リレーションズ研究所

の4者で10年間の森林保育管理体制を担保します。

- ★ 地元林家に森林経営を委託することにより、協定期限後に「地域の森」として返還する際、地元がしっかり管理できる素地をつくっておきます



協定書



2020年6月熊本県山都町



2018年10月北海道中川町

一石二鳥～森林再生 & 地域振興～



ちとも
の賑わい
を寄与す

「PresentTree in くまもと山都」の在る白糸台地と通潤橋の関係



白糸台地は、川が削り取った深い谷に囲まれ、その川の水を汲み上げることは不可能。

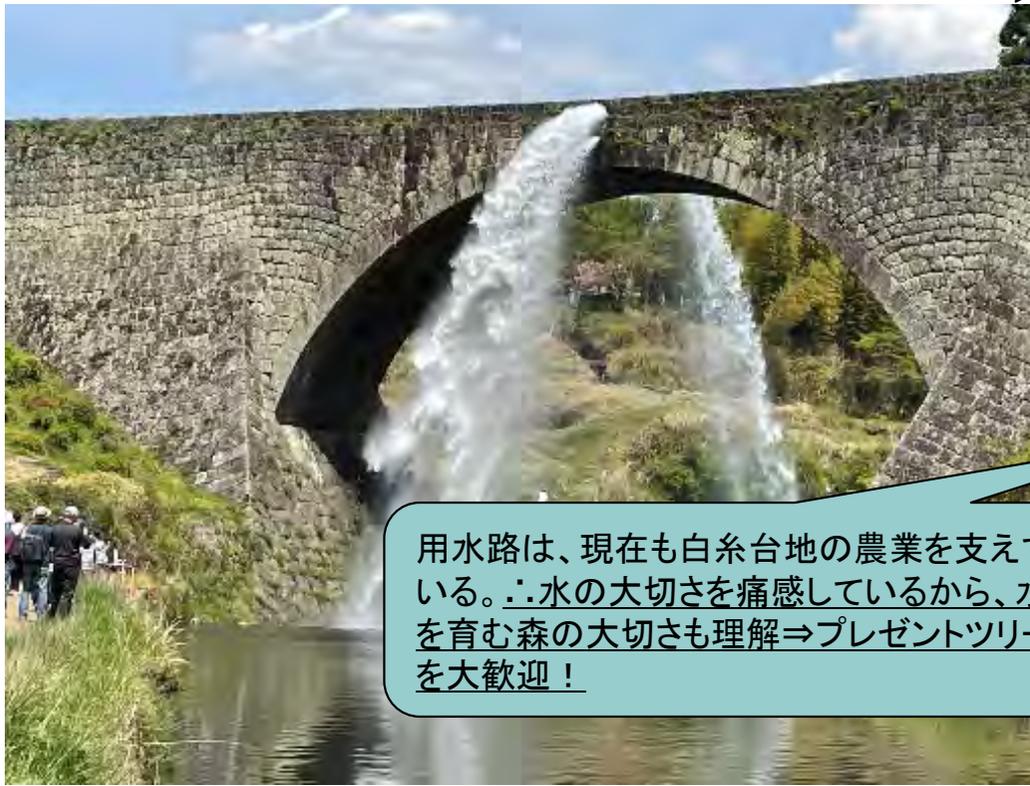
通潤橋は、白糸台地一帯に水を送るために農業用水路の一部としてつくられた水路橋。
橋が造られるまではわずかな田畑に頼る貧しい暮らしを強いられていたが、通潤橋と用水路の完成により、約100ヘクタールの新しい水田が生まれた。



農林水産省webサイト:

https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/museum/m_keikan/tuzyun/より

通潤橋公式サイト: <https://tsujunbridge.jp/about/>より



用水路は、現在も白糸台地の農業を支えている。∴水の大切さを痛感しているから、水を育む森の大切さも理解⇒プレゼントツリーを大歓迎!



山都町におけるプレゼント・ツリーの背景

森づくりで、
豊かな生態系を育む
“有機の里の棚田”を守ろう！

日本の有機農業発祥の地といわれる

熊本県山都町(やまとちょう)。

森が育む美しい棚田は、

絶滅が危惧されるトノサマガエルやタガメをはじめ、

多様な生物、そして人びとの命をつなげます。



 Present Tree® in くまもと山都

山都町が脈々と受け継いできた有機の棚田とその周辺環境が、100年先まで豊かな生き物たちと共に存続し続けるための森づくり。

2020年6月、地震と豪雨からの復興を目指してスタートした「Present Tree in くまもと山都」は、2021年6月の第二弾に続き、2023年6月、第三弾の森林整備協定を締結。自然共生サイト認定エリアには約6600本の樹に里親さんを募り、地元の皆様と協力しながら森を育てている。白糸台地の棚田を見下ろすスギの伐採跡地に、地元植生の広葉樹を植えることで、里山を維持し、棚田の景観とそこに棲む、絶滅が危惧されるトノサマガエル、メダカなど多様な生物を守ります。

認定NPO法人 環境リレーションズ研究所、下田美鈴氏はじめとする白糸第一自治振興会メンバーである地権者達、山都町、緑川森林組合とで森林整備協定を締結。



1970年代から有機農業運動が興り、有機JAS認証登録事業者数52（2020年度時点）と日本一を誇る。有機農業の取組により水田生態系が保全されており、その一画に位置する本対象サイト内の棚田では、化学農薬や化学肥料を一切使わない農業を30年以上営んでいる。その為、本対象サイトにおいて、絶滅が危惧されるトノサマガエル、メダカなど希少な生き物が生息することが確認されている。

「プレゼントツリーinくまもと山都」植栽地と棚田

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

有機農業を行う棚田と隣接する再造林未済地に地域性在来種を植え、天然生林を育てており、里山環境を維持管理。詳細についてはWEBサイト（[熊本県山都町|Present Tree](#)）を参照

【主な植生】

植栽した広葉樹種の選定経緯※は次の通り。

「日本植生誌 九州」をベースに、当地に該当する潜在自然植生と①過去に調査した際の現存植生②その後実施した現地植生調査③これら結果を基に種を選定。

【確認された主な動植物】

実際の植栽リストは右の通り。

※潜在自然植生の専門家として、西野文貴氏（林学博士、東京農業大学 特別研究員、株式会社グリーンエルム 代表取締役）が参画。具体的には、天然生林に向けた植栽樹種選定～植栽後の生育状況のモニタリングを指導～実施頂いている。シカによる食害が多数確認されているため、食害の有無について重点的にモニタリングを実施中である。

熊本県上益城郡山都町新小の植栽 株式会社グリーンエルム 2020/12/18

形態	樹種名	樹高比率	本数	備考
低木層 (75%)	アカカン	12	175	現地調査より選定
	シラカン	12	175	潜在自然植生、現地調査より選定
	タブノキ	12	175	潜在自然植生、現地調査より選定
	ヤマザシ	12	175	過去に調査された現存植生より選定
	ヤマモミジ	12	175	過去に調査された現存植生より選定
	ウチノロシ	8	123	潜在自然植生より選定
	スズライ	8	123	潜在自然植生より選定
	コナラ	8	88	過去に調査された現存植生より選定
	クスノキ	3	53	過去に調査された現存植生より選定
	ケヤキ	3	53	過去に調査された現存植生より選定
	ヤマグルミ	3	53	現地調査より選定
	アカガシ	2	35	潜在自然植生より選定
	モチノキ	2	35	潜在自然植生、現地調査より選定
	シロダモ	1	18	潜在自然植生、現地調査より選定
ヤマブドウ	1	18	潜在自然植生より選定	
ヤブニツクス	1	18	潜在自然植生、現地調査より選定	
ユズリハ	1	18	潜在自然植生より選定	
1905		100	1905	
中木層 (15%)	ウリハダカニシ	56	169	過去に調査された現存植生より選定
	サカキ	25	75	潜在自然植生より選定
	オウゴン	13	38	潜在自然植生より選定
	タブノキ	6	19	潜在自然植生、現地調査より選定
300		100	300	
低木層 (10%)	オオモミジ	38	75	潜在自然植生、現地調査より選定
	ヒサカキ	15	30	潜在自然植生、現地調査より選定
	アセビ	10	19	潜在自然植生より選定
	イブキ	10	19	過去に調査された現存植生より選定
	ヤブニツクス	10	19	過去に調査された現存植生より選定
	ヤマブドウ	10	19	潜在自然植生、現地調査より選定
	ウツギ	3	15	過去に調査された現存植生より選定
195		100	195	
			2000	



写真番号：1 写真の撮影年月：2021年4月11日
 写真の説明：「PresentTree in くまもと山都」植樹イベント開催。主に首都圏在住の「里親」が森林整備活動をサポートする。2023年6月現在、個人45名・法人37社が「PresentTree in くまもと山都」の里親として参加、里親受付済植樹本数は10,940本に上る。



写真番号：2 写真の撮影年月：2021年4月11日
 写真の説明：第一協定エリアにはこの春、28種類の地域性在来種の広葉樹合計2000本が植樹された

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

- ①健全性：棚田および隣接するビオトープには希少種を含む多くの水生生物が生息
- ②供給サービス：良質な湧水を利用した有機米の栽培を実施。
- ③調整サービス：第一協定エリアは、2021年4月に植栽活動を実施。現在、熊本県森林吸収量認証制度に申請中だが、林野庁「森林づくりによるCO2吸収量計算シート」によると、2030年6月までの森林整備協定の下、毎年下刈りを中心とした保育管理が計画されており、初年度から5年目まで2.2 t-CO2/年、6～10年目までは2.5 t-CO2/年の吸収量が想定。拡張エリアでは、2024年4月に植栽活動実施予定で、2034年6月までの森林整備協定の下、初年度から5年目まで8.4 t-CO2/年、6～10年目までは9.6 t-CO2/年の吸収量が想定。

【主な植生】

前ページの通り。

【確認された主な動植物】

最新の生き物調査（2023.8.19実施）の結果は右の通り。

※生物調査の専門家として、藤吉勇治氏（矢部郷自然観察会会長、熊本県希少野生動植物検討委員会委員）が参画。本対象サイトでは、1992年～毎年夏と秋に「田んぼの生き物観察」を継続中であり、その調査設計～調査実施～結果報告に至るまで全面的な指導を頂いている。

確認日 2023年(令和5年)8月19日 9:30～10:20
 確認者 藤吉勇治
 (矢部郷自然観察会会長、熊本県希少野生動植物検討委員会委員)
 確認場所 熊本県上益城郡山都町犬飼
 下田美鈴氏の田んぼ及び休耕田

確認した生物の目名、科名、種名、成長段階、個体数

目	科	種	成長段階・個体数	環境省RL
コイ	ドンコ	ドンコ	成魚1	
コイ	ドジョウ	ドジョウ	成魚2	NT
コイ	コイ	タカハヤ	成魚1	

両生類

目	科	種	成長段階・個体数	環境省RL
有属	イモリ	アカハライモリ	成体2	NT
無属	アカガエル	ヌマガエル	成体5	
無属	アカガエル	ツチガエル	成体2	

甲殻類

目	科	種	成長段階・個体数	環境省RL
エビ	サワガニ	サワガニ	成体1	

貝類

目	科	種	成長段階・個体数	環境省RL
麗星	リッコガイ	スクミリンゴガイ	成体8	

爬虫類

目	科	種	成長段階・個体数	環境省RL
コウチユウ	ゲンゴロウ	シマゲンゴロウ	成虫3	NT熊本EN
コウチユウ	ガムシ	ガムシ	成虫6	
カメムシ	コオイムシ	タガメ	成虫1 幼虫1	VU熊本CR
カメムシ	コオイムシ	コオイムシ	成虫8	NT
カメムシ	タイコウチ	タイコウチ	成虫6	
カメムシ	ミスカマキリ	ミスカマキリ	成虫4	
カメムシ	マツモムシ	マツモムシ	成虫2	
トンボ	オニヤンマ	オニヤンマ	成虫2	
トンボ	トンボ	シオカラトンボ	成虫4	
トンボ	トンボ	ウスバキトンボ	成虫6	
バッタ	キリギリス	キリギリス	成虫1	
バッタ	バッタ	トノサマバッタ	成虫2	
バッタ	イナゴ	コバネイナゴ	成虫2	
バッタ	コオロギ	エンマコオロギ	成虫1	

クモ類

目	科	種	成長段階・個体数	環境省RL
クモ	コガネグモ	ナガコガネグモ	成体1	



写真番号：3 写真の撮影年月：2022年8月19日
 写真の説明：田んぼの生き物観察実施。



写真番号：4 写真の撮影年月：2022年8月19日
 写真の説明：田んぼの生き物観察実施。

価値 (6) 希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

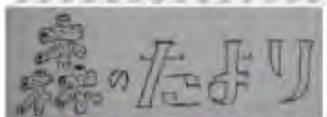
【場の概況】

環境省レッドリスト2020において選定されている希少種が棚田および隣接する水田
ビオトープに生息。

【確認された主な動植物】

本対象サイトでは、1992年～毎年夏と秋に「田んぼの生き物観察」を継続しており、
 2019年10月12日開催の観察会では、棚田における希少水生生物の出現種として次
 のような生き物が確認できている。

矢部郷自然観察会会報 (No.145) 2022 (令和4)年9月3日



手紙

観察会代表 (文責) 藤吉 清治

田んぼの生き物
 観察会

子ども達の元気な笑顔が田んぼに届ってきました

この2年半程の間、新型コロナウイルスの感染拡大のため、矢部郷自然観察会も活動を
 自粛していました。ようやく昨年の秋から少しずつ可能な範囲で観察活動を
 再開していました。

本年度になり感染防止をした上での観察会の計画を考えていたとき、観察会
 運営委員の下田博臣さんから「8月に農業体験で子ども達が集まるんですが、
 ぜひ田んぼで生き物観察をしてくださいませんか。」とお願いがありました。



下田さんの田んぼでの観察会は、令和元年10月のくまもとグリーン農業推
 進農業産地振興イベントでの田んぼの生き物観察会以来となります。
 8月19日、農業体験に来た子ども達と地元の高校生ボランティア、そして
 「田んぼの生き物を見てみたい。」と希望されたご夫婦が集まりました。

今回の観察会で見つかった生き物たち

【両生類】

アカハライモリ (準絶滅危惧種)、トノサマガエル (準絶滅危惧種)、ヌマ
 ガエル、ツチガエル、アマガエル

【魚類】

ドジョウ (準絶滅危惧種)、ドンコ

【昆虫】

《水生昆虫》タガメ (絶滅危惧種)、シマグンゴロウ (絶滅危惧種)、マル
 ガタゲンゴロウ (絶滅危惧種)、コガタノゲンゴロウ (準絶滅危惧種)、
 コオイムシ (準絶滅危惧種)、タイコウチ、ミズカマキリ、マツモムシ、
 マメゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、アメンボ、ガムシ、オニヤンマなど数
 種類のトンボの幼虫

《その他の昆虫》オオカマキリ、ハラビロカマキリ、トノサマバッタ、オン
 プバッタ、ハネナガイナゴ、コバネイナゴ、エンマコオロギ、カヤキリ、
 ナツアカネ、クラ

【その他】

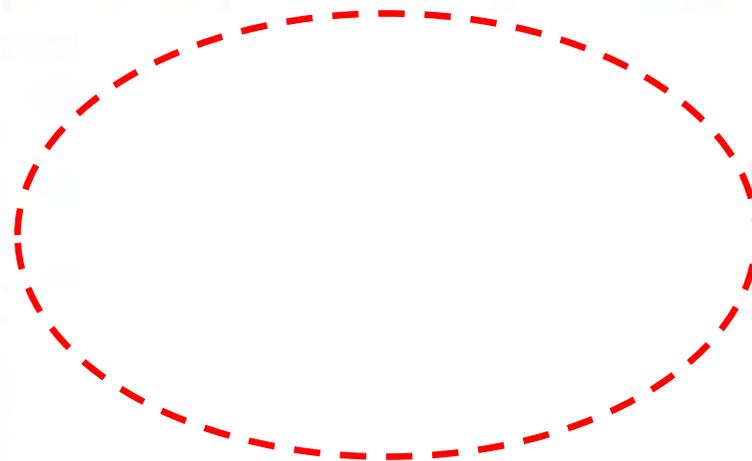
サワガニ、カワニナ

農業を使わない安心安全な米作りに取
 り組んでいる下田さん、そして白糸地区
 の田んぼは、多くの希少生物が生き残り
 る豊かな自然がありました。

土づくりを基本に、化学合成肥料や農
 薬を減らした環境に優しい農業をめざす
 「くまもとグリーン農業」の産地視察としての今回の山都町でのツアーは、参
 加者にとっても有意義な体験となったようです。子ども達の生き生きとし
 た表情がとても印象的でした。



写真番号：5 写真の撮影年月：2023年8月19日
 写真の説明：確認された田んぼの生き物の様子。



出典：矢部郷自然観察会会報 (No.137)
 2019年11月3日、(No.145) 2022年9月3日

Present Tree in くまもと山都

2021年4月10～11日第1回植樹ツアー

蔓延防止措置下の厳戒体制の中、新型コロナウイルス感染予防のため、乗車密度を半減させて決行。

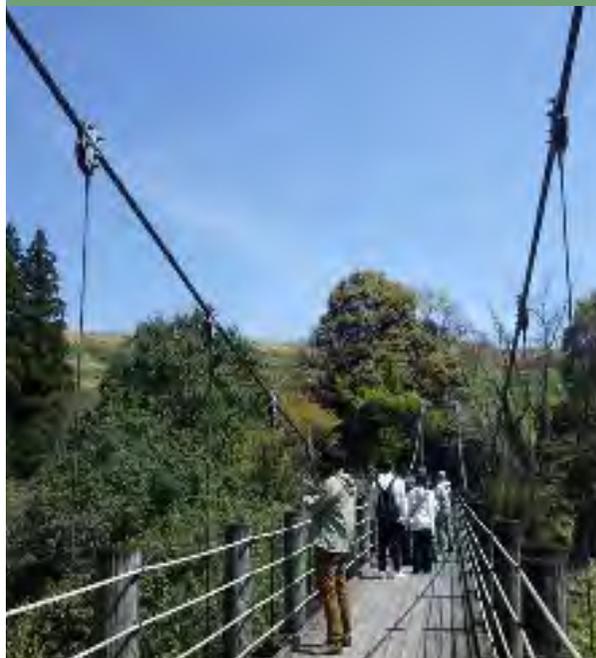


いつものような「交流」は
憚られました。首都圏
から25名が参加。あつと
いう間に予定本数の植
樹完了！

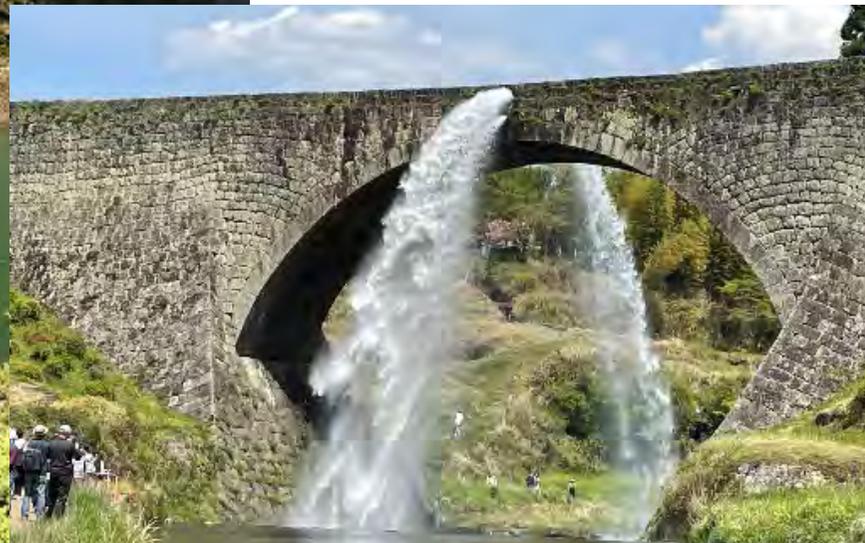


Present Tree in くまもと山都

2021年4月10～11日第1回植樹ツアー



植樹イベント前には、山都町のキレイ!を満喫。
交流イベントの代わりに、嚴重な感染対策の下、町議会議員・吉川みかさんより、山都町自慢の名所をガイド頂きました!



Present Tree in くまもと山都

2021年4月10～11日第1回植樹ツアー



山都町のキモチイイ&オイシイを体感！
フットパスウォーキングでは、棚田と阿蘇の山並みを
余すところなく満喫！
途中、下田茶園&茶畑に立ち寄り一服。「有機の里」
をしっかりと体感できました。



Present Tree in くまもと山都

2021年4月10~11日第1回植樹ツアー



山都町の楽しい！
&おいしい！を体験。

人気のパワースポット・弊立神宮や、円形分水の役割に感心しつつ、、、山都町の有機野菜を使ったバイキング料理に全員舌鼓♪胃袋を掴まれました！



Present Tree in くまもと山都 2021年4月10～11日第1回植樹ツアー アンケート結果(自由記述抜粋)

"私、また来たいと思いました。"

"2日間という短い時間にもかかわらず、五老ヶ滝や通潤橋、植樹活動など多くの体験ができて良かったです。ぜひまた参加させていただきたいです。山都町の自然の豊かさやおいしいごはんに感動しました。しかし、この自然が災害や中国人に脅かされているという話をきき悲しいと思いました。"

"とてもよい町で楽しかったです。今回植樹した木の成長を家族で見に行きたいと思います。応援しております。"
"PresentTreeは日本各地を考えると壮大なプロジェクトだと思います。山都町は季節もよく、すごく穏やかな良い土地で、またいつか訪れたいと思います。"

"とても美しい町で、豊かな自然にいやされました。山都にまた来たいですし、町のことをもっと知りたいです。PresentTreeさま、このような機会をありがとうございました。"

"◎PresentTreeのみなさん、2日間、とても充実した、満足するスケジュール、イベントを組んでいただきありがとうございました。本当に素晴らしい2日間でした。また参加させて下さい。"

"◎山都町のみなさん、2日間、大変お世話になりました。いつまでもこの美しい素晴らしい自然環境を守り下さい。農林業に就く若者たちが大勢山都町に集まるようお祈りしています。又協力出来ることはさせていただきます。"

"また参加しますし、今度は会社同僚を連れてきます！"

"どこに行っても温かく迎えてくださって、またどの場所も素晴らしくて、家にこもりっぱなしになっていて荒んだ心(笑)が癒されました。ステキな経験をありがとうございました。また必ず来ます！！"

"こんなに良い所だとは思っていませんでした。良い機会を作ってもらい感謝です。"

"心のこもったイベントに感謝、感謝です。ほんとうにありがとうございました。100年先の姿を想像するとワクワクします。"

実際、二年目以降の参加者の半分はリピーター

Present Tree in くまもと山都×ロクシタン

プレゼントツリーくまもと山都、企業里親第一号・ロクシタンジャパンが、くまモンと共に山都町を応援し続けて下さっています！



くまモンがハンドクリームをPR



数量限定

くまモンのチャリティー製品
ハンドクリームトリオ

くまモン・ロクシタン チャリティー製品発売！
収益はすべて、熊本県山都町の格差プロジェクトに寄付されます。

Present Tree:

CHARITY SHEA KIT

くまモン チャリティシアキット
ロクシタン シア ハンドクリーム 30mL
ロクシタン シアバター 10mL
2,600円 (税込2,860円)

※個人・法人、一回一袋ずつの購入が可能です。

ロクシタンジャパン株式会社 山都町環境リソースセンター 山都町環境リソースセンター



Present Tree in くまもと山都 法人里親(一部抜粋)

会社名	業種
Sansan株式会社	情報・通信業
ロクシタンジャパン株式会社	化粧品メーカー
大和アセットマネジメント株式会社	金融
大和証券株式会社	金融
タンスのゲン株式会社	インターネット販売
セイノースーパーエクスプレス株式会社	物流
日本再生可能エネルギー株式会社	再エネ供給
FCAジャパン株式会社 (JEEP)	自動車メーカー
ディー・アンド・エイチ株式会社	ハウスメーカー
株式会社ほっとエコライフ熊本営業所	スマート電化設備販売
株式会社ホットフィールド	自動車フロアマットの企画・製造販売
株式会社天満屋岡山本店	百貨店
有限会社花心	花・植木小売業
新生紙パルプ商事株式会社	専門商社
おかやま信用金庫	金融
株式会社ブロードリーフ	情報・通信業
株式会社ハーモニック	カタログギフト
P&Gジャパン合同会社	日用品メーカー
株式会社リム・プランニング	リノベーション
ソウ・エクスペリエンス株式会社	カタログギフト

100年後の日本

「民間の取組等によって生物多様性の保全が
図られている区域」＝「自然共生サイト」＝人間
が積極的に関与して護ってきた生態系

【人口が激減、少子・高齢化加速】

国立社会保障・人口問題研究所による最悪のシナリオでは、2115年に日本の人口は今の三分の一以下にまで減り、内半分が高齢者と推計されています。

100年後、森や棚田、ビオトープを護る人間も激減していることでしょう。

その時に、豊かな日本の生態系や美しい森が維持存続できるために必要なこと、

「人が居なくて森や棚田などに構ってられない地域のそれらが、崩れたりしないように・砂防ダムで塗り固められないように、美しい日本を維持するために、人口が偏在する地域の人々が森や自然共生サイトに出向き、保全活動を担える仕組みを整えること」

「都市部の人たちが、森や自然共生サイトの保全活動に興味を持って頂くよう、参加の緒を作ること」

PresentTree in くまもと山都

是非、ご参加ください！

